

「日英交流セミナー兼第 3 回ローカルリンク会議」 ～姉妹都市交流の今後をさぐる～

ロンドン事務所

平成 23 年 3 月 4 日 (金)、イングランド南東部のメドウェイ市旧穀物取引所において、「日英交流セミナー兼第 3 回日英ローカルリンク会議」が開催されました。

この会議は、日英間の自治体交流の現状について情報を共有し、現在抱えている課題をどのように解決するかを話し合うことを目的として、2009年、2010年の2カ年にわたって、在英日本国大使館と共催してきた「日英ローカルリンク会議」と、ロンドン事務所が毎年開催している「日英交流セミナー」を同時に開催したものです。



会場 (メドウェイ市旧穀物取引所)

今回は、日英間の都市間交流の今後のありかたを探ることをテーマとし「日英ローカルリンク会議」で、これまでの2カ年にわたって議論してきた内容(第1回:交流の現状報告、課題の洗い出し、在英日本関係機関の支援の可能性、第2回:助成金等による財源調達、JET経験者等外部人材の活用推進)を踏まえ、従来型の文化交流を中心とした友好提携に留まらず、経済交流など新たな交流の可能性など、今後の都市間提携のあり方や発展

の方向性について、より広い視点から話し合いを行いました。

当日は、日本と日本と交流のある英国の自治体、JETAA、クリアロンドン事務所、国際交流基金ロンドン事務所、JETRO ロンドン等から、合計約40名が会議に参加しました。

【メドウェイ市と日本】

今回の会場となったメドウェイ市は、徳川家康の外交顧問であった三浦按針ことウィリアム・アダムスの出身地であることから、神奈川県横須賀市、静岡県伊東市と姉妹都市提携を結んでいる自治体で、毎年高校生交流を行うなど、活発な交流を続けている自治体です。また、市内の男子高校チャタム・グラマースクールには日本語の授業があり、兵庫県立神戸高校と姉妹校提携を結び、毎年相互訪問を行っています。



池田事務局長の発表

【会議の概要】

本会議は、これら交流事業の中心となって活躍されている同市のスーザン・ヘイドック議員の司会で始まりました。在英日本国大使館田村参事官の挨拶に引き続き、大和日英基金のマリー・コンティ-ヘルム事務局長から、日本と北東イングランドの交流の歴史についての発表を頂きました。

クレアからは、池田事務局長が日本の姉妹都市交流の現状と活動事例の紹介、姉妹都市交流に対するクレアの支援について発表を行いました。そののち、会場となったメドウェイ市と神奈川県横須賀市、静岡県伊東市との交流、2010年にあらたに市民友好提携を結んだアバディーン市と長崎市のこれまでの交流の歴史について、さらに、同じく2010年に神奈川県川崎市と姉妹提携20周年を迎えたシェフィールド市から、海外自治体との経済交流について発表がありました。



質疑応答のようす

これまで、日英間の姉妹提携は、学生の相互派遣など主に自治体主導による文化交流的な側面が強かったのですが、市民間での交流の高まりが友好提携に結び付いたアバディーン市の事例や、地域への企業誘致や地元企業の海外進出に焦点を当てて経済交流を進めているシェフィールド市の事例などは、示唆に富んでおり、活発な質疑応答が行われました。

英国では中央政府の財政状況の悪化から、地方自治体に対する交付金の約4分の1位が削減されることになるなど、英国の自治体は日本以上に厳しい財政状況にあり、国際交流の継続についても部門の継続を含めて大変厳しい環境にあります。今回の会議で行われた議論が、今後の日英間の都市間交流の継続と発展に対して貢献するものであればと願ってやみません。

(辻井所長補佐 神戸市派遣)